



伝統芸能披露



国際コンテナターミナル



クルーズ船のクルーと子どもたちの交流



オプションツアー
シャトルバス



物販テント村

夢みなとタワー
(総合免税店)

境港長期構想検討委員会 第4回委員会資料 令和2年3月 境港管理組合



水木しげるロード
リニューアル



クルーズ客向け
観光案内所



大漁祭の開催



ポート・オブ・ザ・イヤー2017授賞

平成30年 港湾関係団体新春賀詞交歓会
ポート・オブ・ザ・イヤー



水木しげるロード

2019 レーザー 世界選手権大会 境港開催決定

大会開催式典



内航RORO荷卸し状況

港湾計画素案の策定

港湾計画素案の策定

港湾計画素案の基本方針

■ 目標年次

令和10年代後半を目標年次とする。

(既定計画:平成17年6月改訂→目標年次 平成30年代前半)

改訂の背景・要請

【物流・産業】

- ①貨物量の増加及び船舶の大型化への対応
- ②産業の新たな展開に対する対応
- ③外内貿フェリー・RORO輸送拠点機能の強化

【人流・賑わい】

- ①クルーズ船寄港数増加(インバウンド旅客)への対応機能の維持・強化
- ②狭隘なマリーナ施設の機能拡大

【安全・安心】

- ①大規模災害等への対応及び広域バックアップ機能の確保

【環境】

- ①リサイクル産業や再生可能エネルギー産業の受入機能の強化

基本方針

【物流・産業】

山陰地域を代表する物流拠点機能の強化

- ①外内貿コンテナ貨物量の増大に対応したコンテナ取扱機能の強化
- ②船舶の大型化やバイオマス発電関連貨物の取扱い等、新たなニーズへの対応
- ③竹内南地区複合一貫輸送ターミナル(整備中)を活用した物流輸送網の強化

【人流・賑わい】

魅力ある親水空間形成・周辺観光資源との連携

- ①竹内南地区複合一貫輸送ターミナル(整備中)を核とした賑わい空間の形成
- ②プレジャーボート保管機能の強化及び各種世界大会・国体等への対応

【安全・安心】

地域産業の事業継続基盤の整備

- ①災害時対応に備えた耐震強化岸壁の整備
- ②竹内南地区複合一貫輸送ターミナル(整備中)を活用したリダンダンシーの確保

【環境】

環境先進港湾機能の強化

- ①リサイクル産業や再生可能エネルギー産業の活性化に資する港湾機能の強化



港湾計画改訂に向けた 境港各地区施策展開方向①

施策	取組内容	関連視点項目				取組時期	地区																
		物流・産業	人流・賑わい	安全・安心	環境		全体	外港					内港(江島地区含む)										
								昭和南	竹内南	中野	昭和北	竹内	内港	江島	外江	中海							
埋立てによるコンテナヤード確保及び岸壁の整備																							
	船舶の大型化への対応(岸壁)	○				中期		○															
	コンテナヤードの確保	○				中期		○															
	ガントリークレーンの増設	○				短期		○															
	リーファー電源の増設	○				短期		○															
	老朽化した荷役機械の更新	○				継・持		○															
	航路誘致活動	○				継・持		○															
	AIやIoTを活用した荷役の効率化	○				継・持		○															
取扱貨物集約によるふ頭の再編																							
	バルク貨物取扱の棲み分け	○			○	中期		○		○													
	船舶大型化への対応	○				中期		○		○													
	倉庫用地の確保	○				中期		○		○													
	リサイクル貨物需要への対応	○			○	中期				○													
耐震強化岸壁の活用と確保																							
	岸壁の耐震化	○			○	中期		○															
埋立てによるヤード及び岸壁の確保																							
	バルク貨物取扱の棲み分け	○			○	中期				○													
フェリー・RORO取扱機能の拡充																							
	複合一貫輸送ターミナル	○	○			短期				○													
	DBSクルーズフェリーの移転・集約		○			短期				○													
	岸壁の耐震化			○		短期				○													
クルーズ船受入機能の拡充																							
	船舶大型化への対応		○			中期				○													
小型船係留・保管機能の強化																							
	係留・保管施設の拡張		○			中期				○													
	航路水深の維持			○		中期				○													
親水性の創出																							
	海浜の形成によるレクリエーション空間の創出		○			長期				○													
魚釣り施設の拡張																							
	魚釣り施設の確保		○			長期				○													
発災害時貨物取扱機能の確保																							
	岸壁の耐震化			○		短期				○													

※短期、中期、継続・持続的取組を港湾計画に位置付予定

港湾計画改訂に向けた 境港各地区施策展開方向②

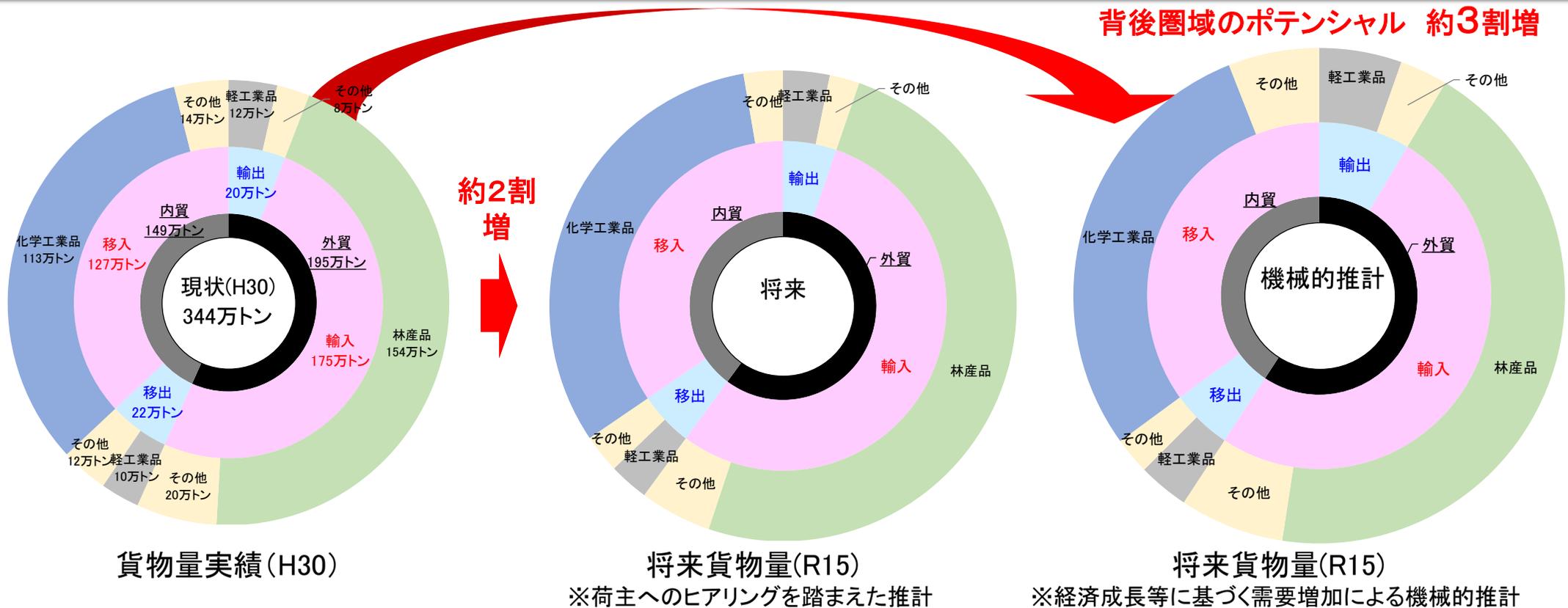
施策	取組内容	関連視点項目				取組時期	地区									
		物流・産業	人流・賑わい	安全・安心	環境		全体	外港					内港(江島地区含む)			
								昭和南	竹内南	中野	昭和北	竹内	内港	江島	外江	中海
船舶の大型化への対応																
	船舶の大型化への対応(岸壁)	○				中期							○			
取扱い貨物集約化の検討																
	既存施設の有効活用・利用転換			○		継・持				○		○		○		
	インフラの維持管理の効率化			○		継・持					○		○			
燃油供給機能の確保																
	石油製品の早期出荷			○		中期				○						
廃棄物処理機能の拡張																
	土地利用変更				○	短期				○						
歴史・文化の有効活用																
	漁港との連携		○			継・持						○				
	伝統、歴史の保存		○			継・持					○					
中海(江島地区周辺)の有効利用																
	海洋性レクリエーションの発掘		○			長期								○		
	マリンスポーツ海上の発掘		○			長期								○		
新規航路・泊地の展開																
	船舶大型化への対応	○	○		○	長期				○						
	物流ゾーンと賑わいゾーンへの対応	○	○			超長期				○						
	タグボートのサテライト基地整備等、船舶受入機能の強化	○	○	○	○	長期				○						
	残土処分用地の確保	○	○		○	長期				○						
	航行安全性(ハード・ソフト)の確保			○		継・持				○						
	インフラの維持管理の効率化			○		継・持				○						
人流・物流に対応した円滑な道路交通網の確保																
	境港—米子間の高速道路の整備	○	○	○	○	長期	○									
	境港—島根間の道路網の整備	○	○	○	○	長期	○									
	公共交通機関等を利用した域内交通体系の構築		○			長期	○									
	災害時道路網の確保(ハード)			○		長期	○									
	災害時道路網の確保(ソフト)			○		継・持	○									
	境港BCPIにおける除雪対応の位置付け			○		短期	○									

※短期、中期、継続・持続的取組を港湾計画に位置付予定

全体貨物

全体貨物量(外航)

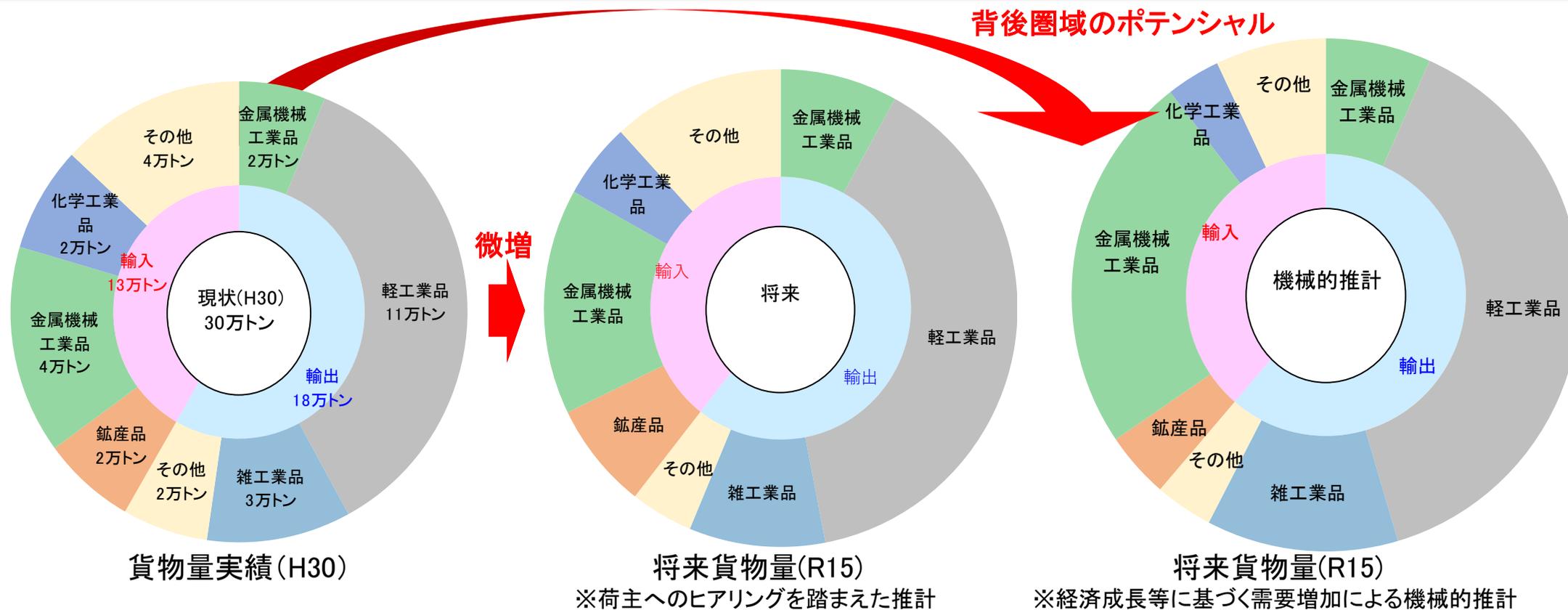
- ・境港の取扱い貨物の現状は外貿が約6割、内貿が約4割であり、輸入が約5割、移入約4割を占め、輸入は林産品、移入は化学工業品が主要品目であり、移出、輸出ともに軽工業品が大半を占める状況となっている。
- ・**将来貨物量は、荷主企業からのヒアリング等により、主にバイオマス発電所の立地に伴う林産品の取扱量の増(約2割)**を設定予定。※現時点の設定であり、今後のヒアリングにより変更となる可能性あり
- ・一方で、上記の要因を除きした場合でも**世界人口の増加や背後圏域のGDPの増加を背景に、軽工業品や林産品を中心とした需要増加(約3割)**のポテンシャルを有している。※現時点の経済成長等に基づく需要増加による機械的推計



公共コンテナ

公共コンテナ貨物量(外航)

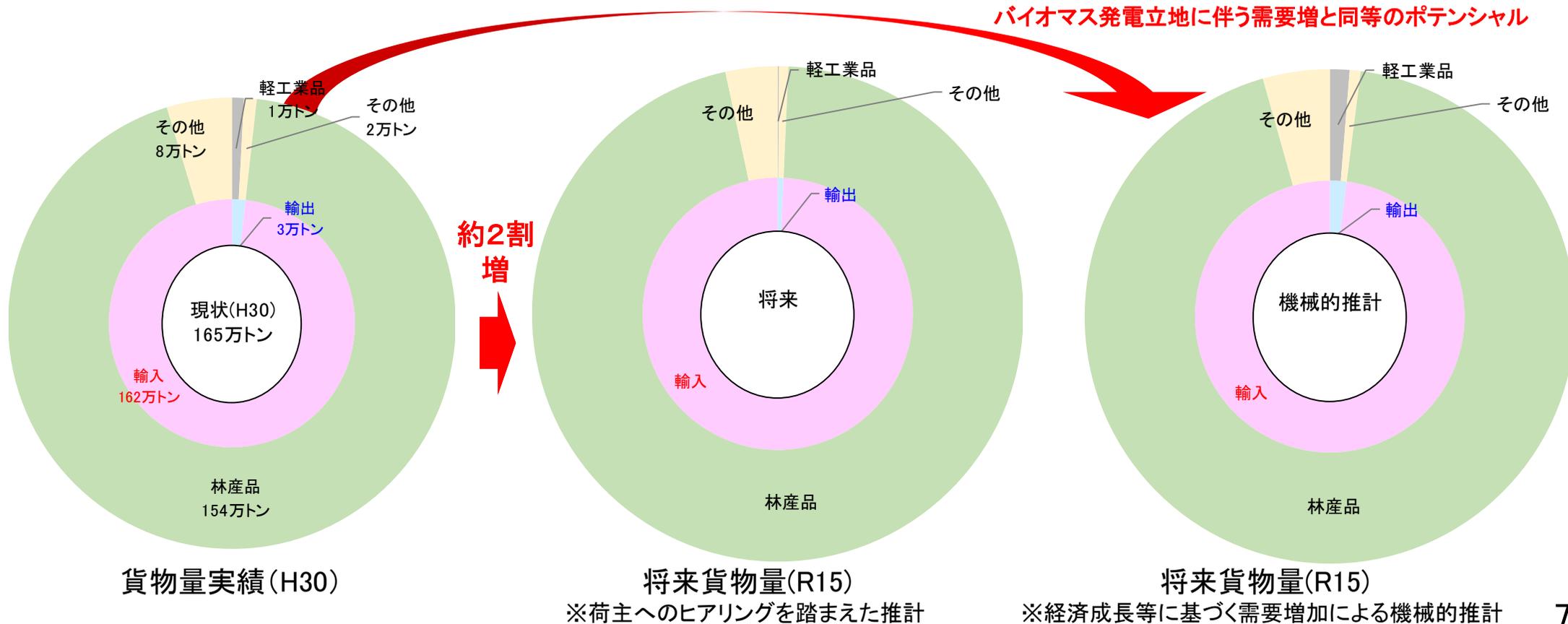
- ・現状の公共コンテナ貨物は輸出が約6割、輸入が約4割であり、輸出の大部分を軽工業品が占め、輸入は金属機械工業品、鉱産品などが多くを占めている。
- ・**将来貨物量は生産機械の能力などにより境港からの輸出量は微増と設定予定。**
※現時点の設定であり、今後のヒアリングにより変更となる可能性あり
- ・一方で、**軽工業品の輸出は世界人口の増加等を背景に背後圏域の産業立地状況に基づく需要増加のポテンシャルを有している。** ※現時点の経済成長等に基づく需要増加による機械的推計



公共バルク

公共バルク貨物量(外航)

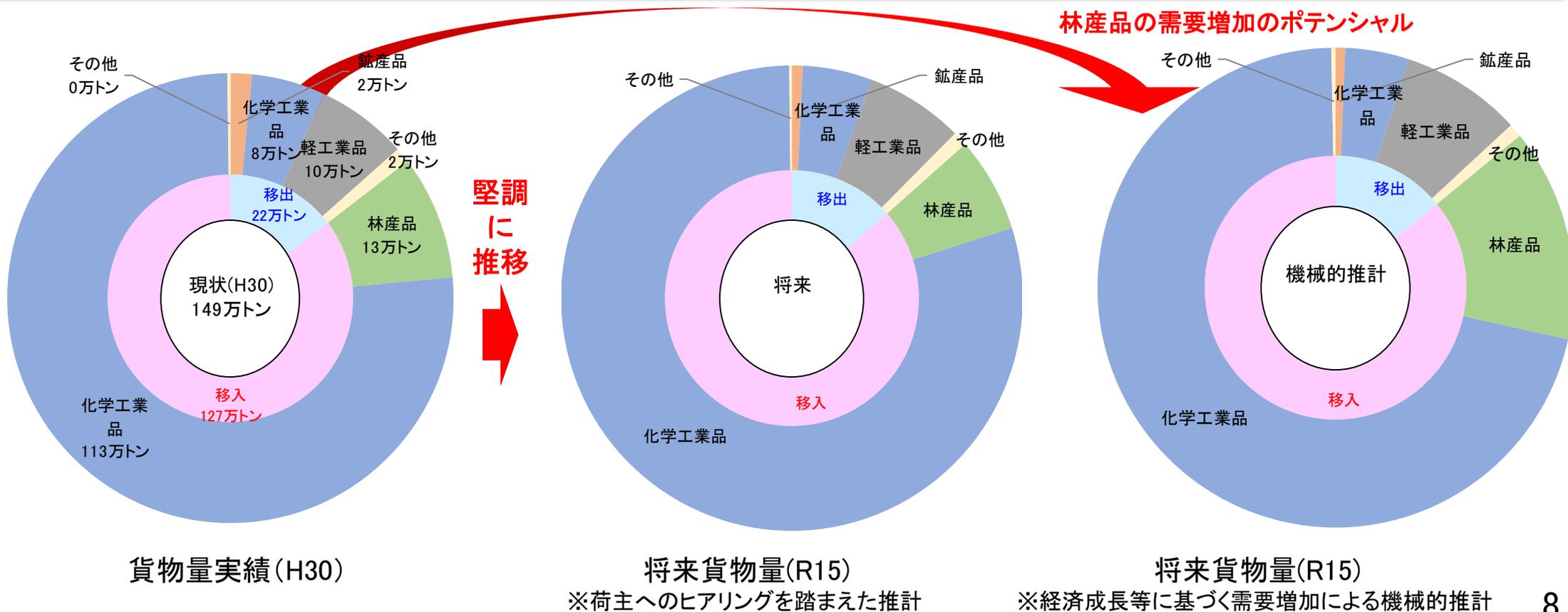
- ・外航公共バルク貨物は98%を輸入が占め、その多くを林産品が占めている。
- ・2022年から稼働を予定している2つの**木質バイオマス発電事業の燃料として、約2割増の新規取扱を設定予定。**
- ※現時点の設定であり、今後のヒアリングにより変更となる可能性あり
- ・一方で、**経済成長等を背景に背後圏域の林産品取扱いは、バイオマス発電に伴う需要増と同等の需要増加のポテンシャルを有している。** ※現時点の経済成長等に基づく需要増加による機械的推計



公共バルク

公共バルク貨物量(内航)

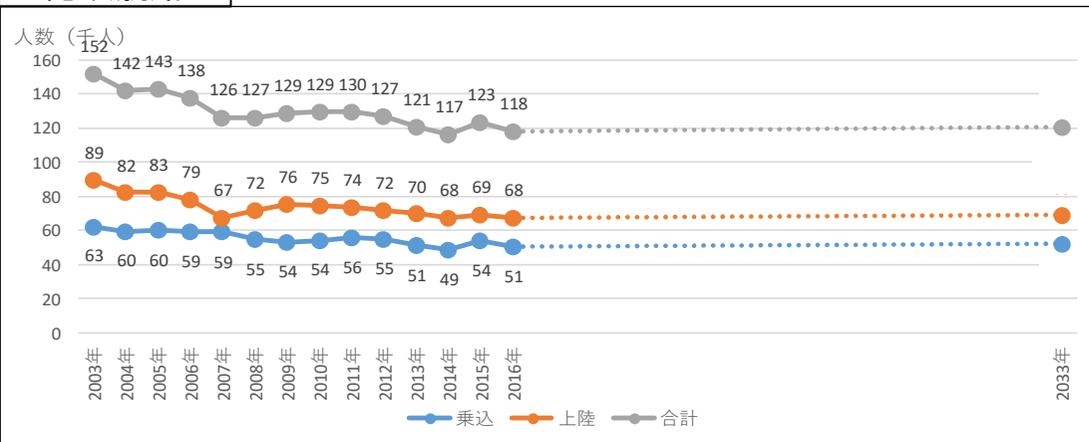
- ・内航公共バルク貨物は85%を移入が占め、その多くを化学工業品が占めている。
- ・**化学工業品**の内訳はセメントや重油等であり、**国内需要は今後も堅調に推移していくと設定予定**。
- ・**林産品の移入**は境港背後圏の**生産機械の能力**などにより現状程度(過去5ヶ年平均程度)と設定予定。
※現時点の設定であり、今後のヒアリングにより変更となる可能性あり
- ・一方で、**境港背後圏のGDP増加を背景に、林産品の需要増加(約2割)のポテンシャルを有している**。
※現時点の経済成長等に基づく需要増加による機械的推計



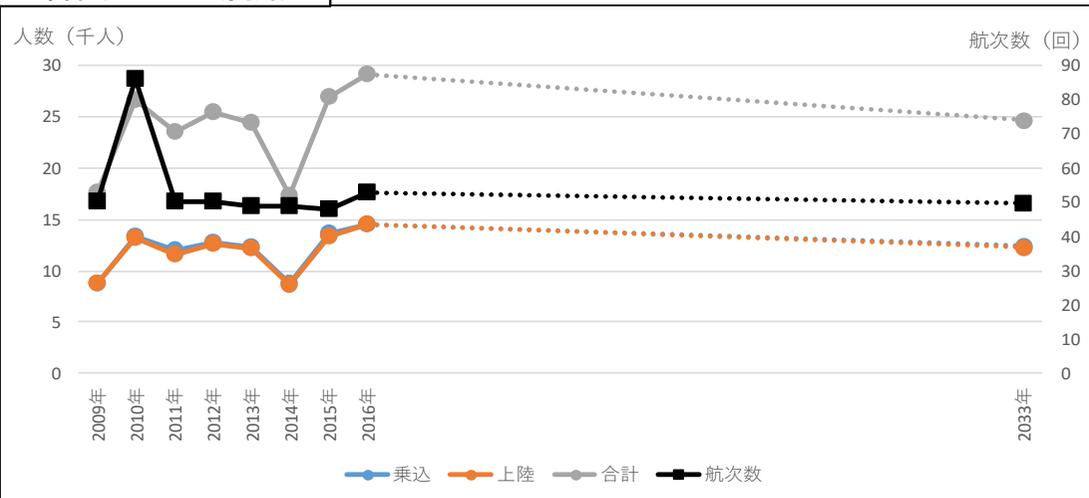
旅客数

- ・隠岐航路の旅客数は人口減少に伴う減少が落ちき、**近年は横ばいで(約12万人/年)推移。**
- ・韓国・ロシア航路の旅客数は、バラつきはあるものの、**直近では約2～約3万人/年で推移。**
- ・クルーズ旅客数は、直近では約6万～約7万人/年で推移しており、**クルーズ船寄港回数の増加及び船舶の大型化に伴い、増加傾向。**

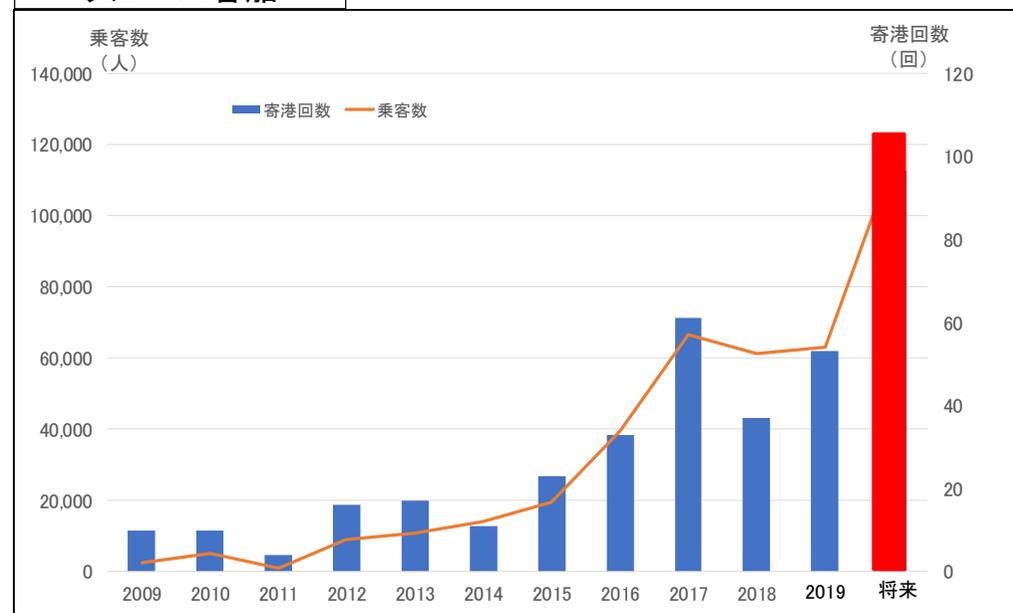
隠岐航路



韓国・ロシア航路

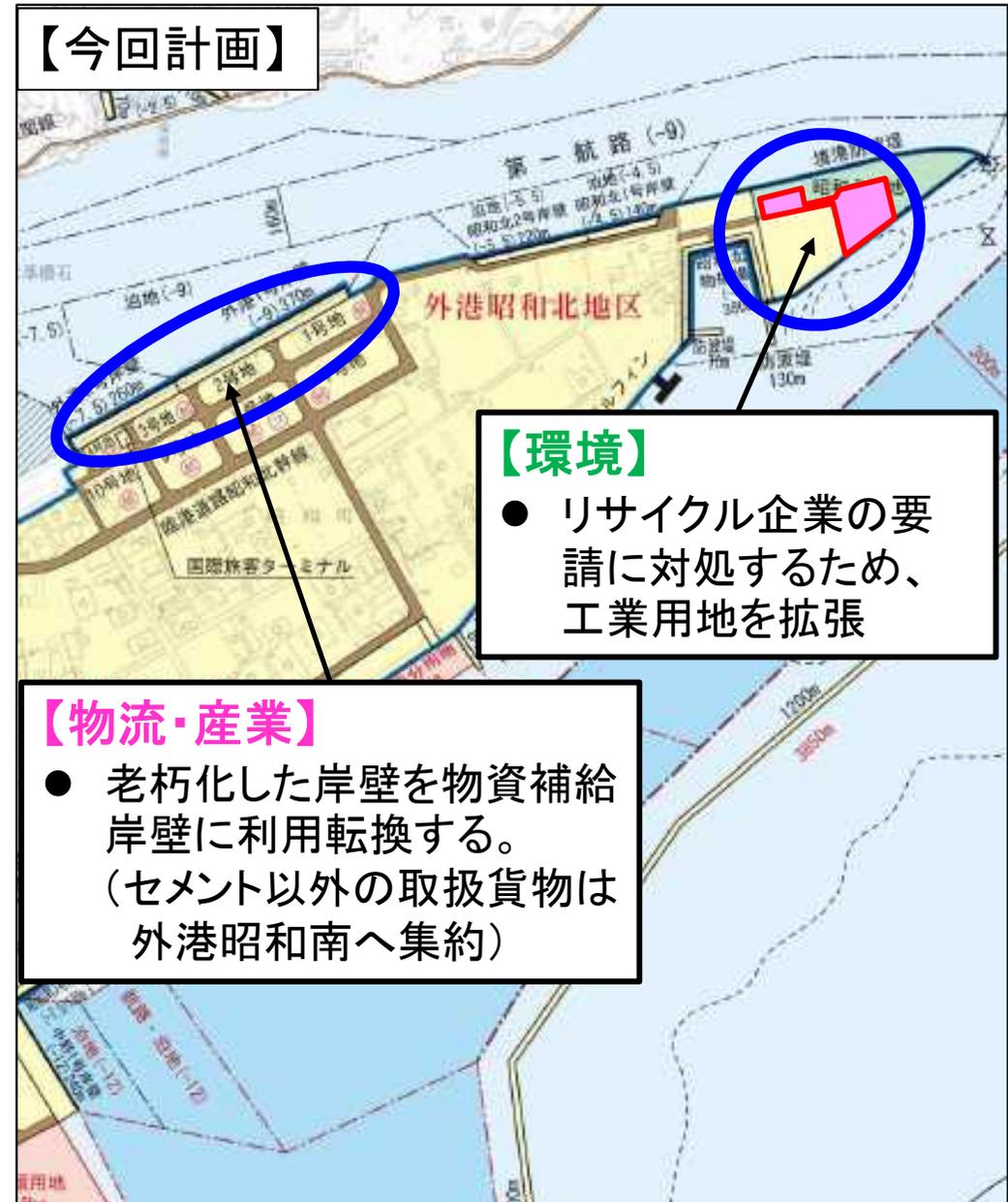


クルーズ客船



港湾計画素案の策定①

■外港昭和北地区周辺



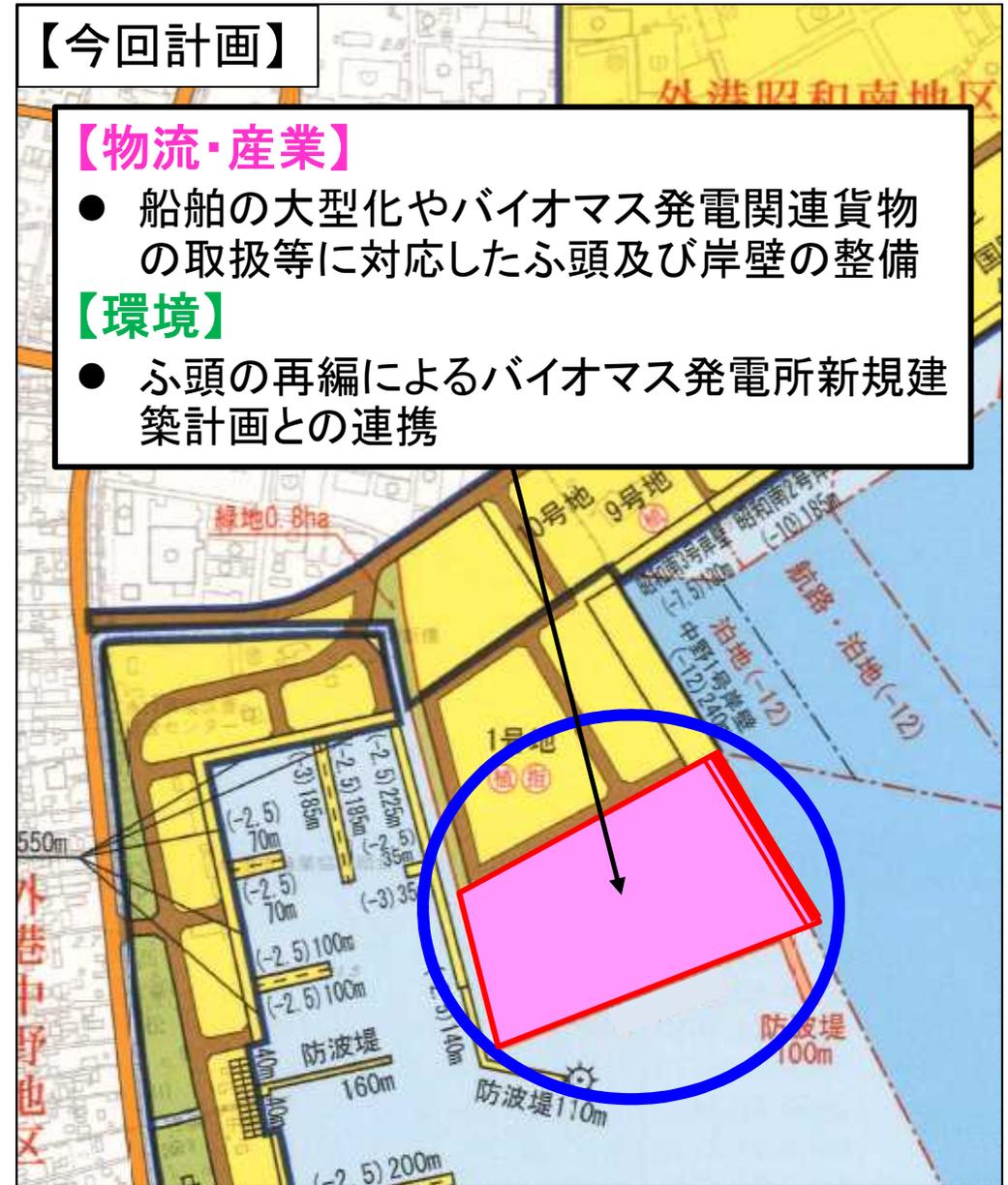
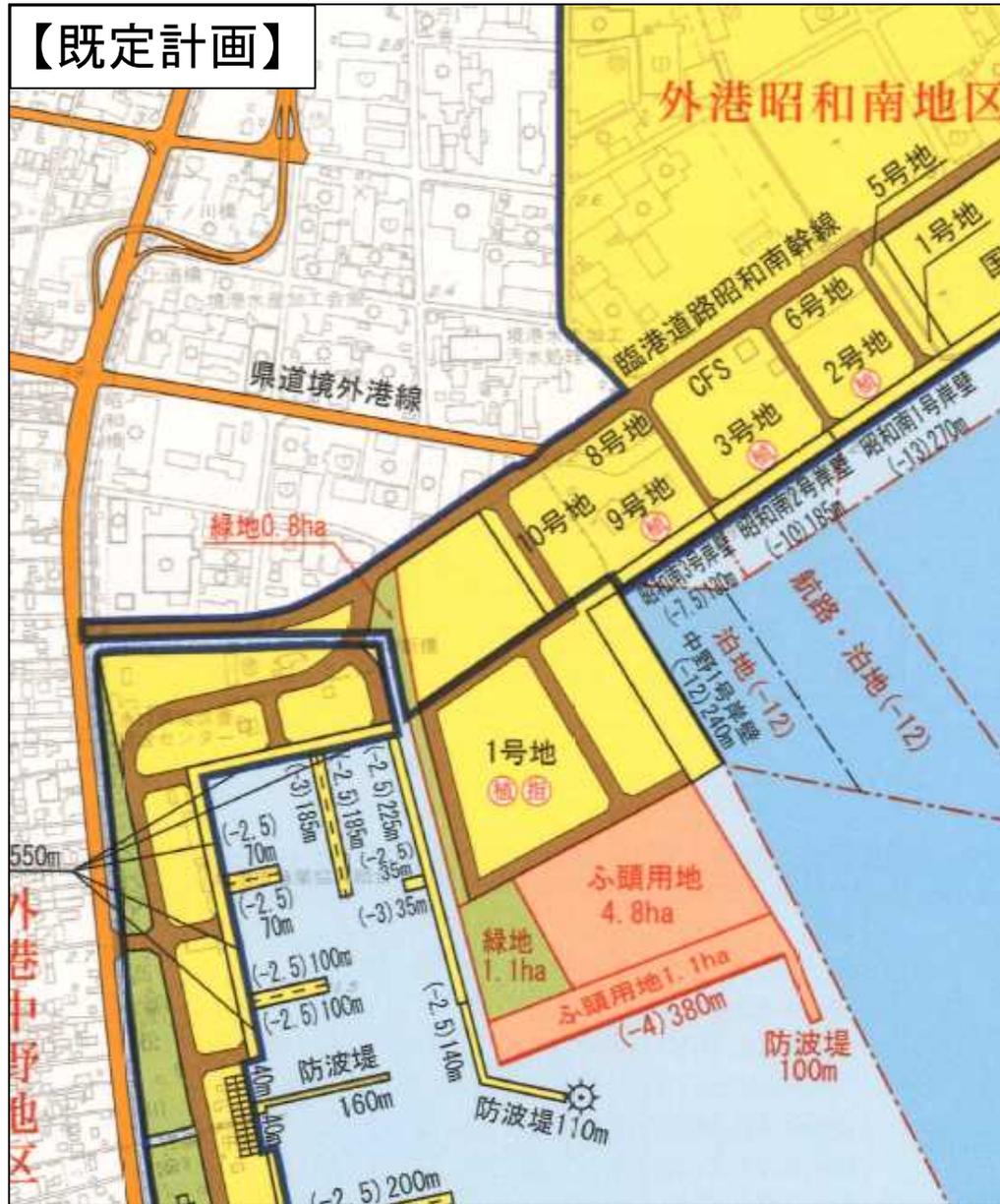
港湾計画素案の策定②

■外港昭和南地区周辺



港湾計画素案の策定③

■外港中野地区周辺



港湾計画素案の策定④-1

■外港竹内南地区周辺

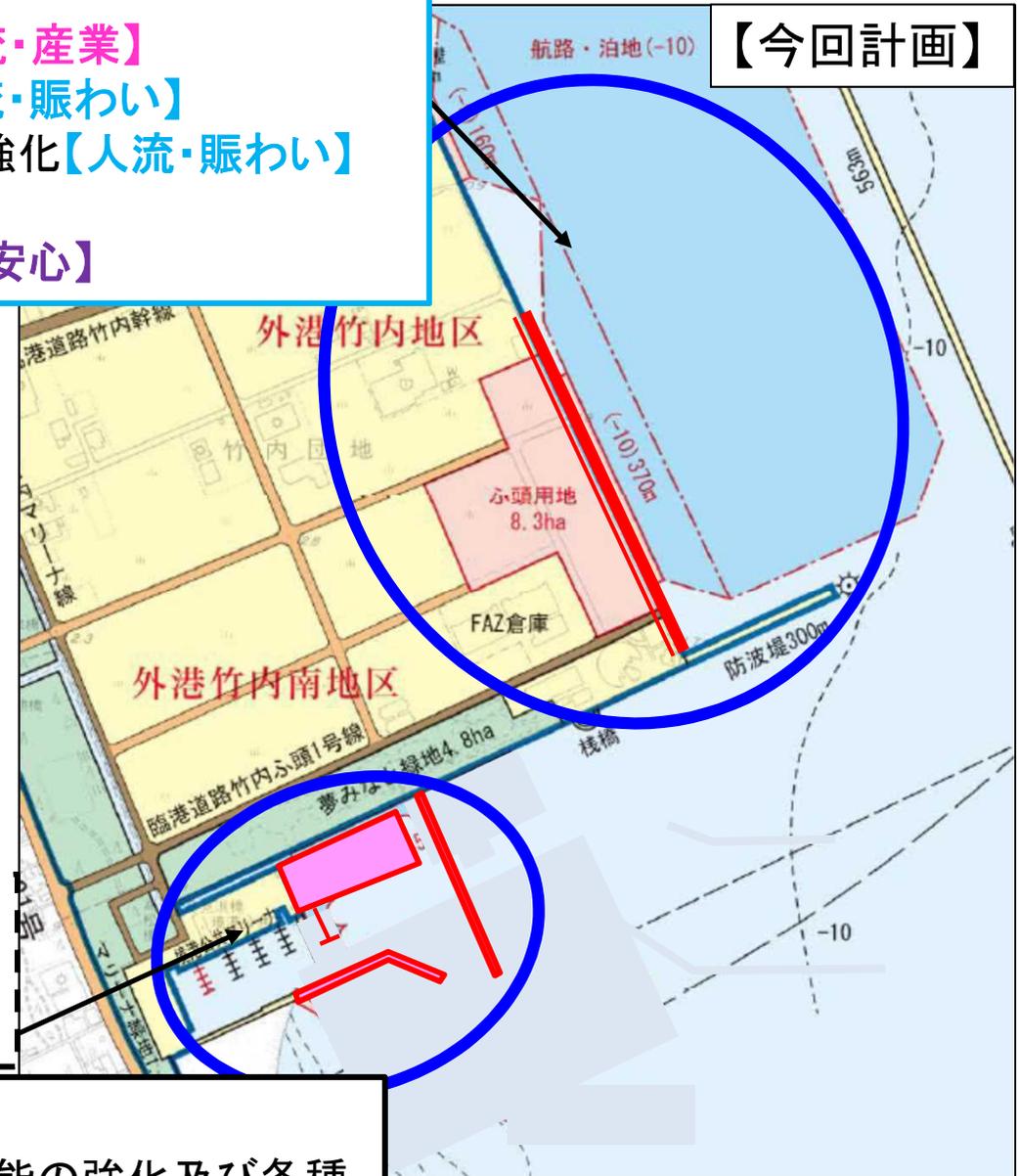
竹内南地区複合一貫輸送ターミナル
(整備中)を活用した

- 物流輸送網の強化【物流・産業】
- 賑わい空間の形成【人流・賑わい】
- クруз船受入機能の強化【人流・賑わい】
- リダンダンシーの確保
(耐震強化岸壁)【安全・安心】

【既定計画】



【今回計画】



【安全・安心】

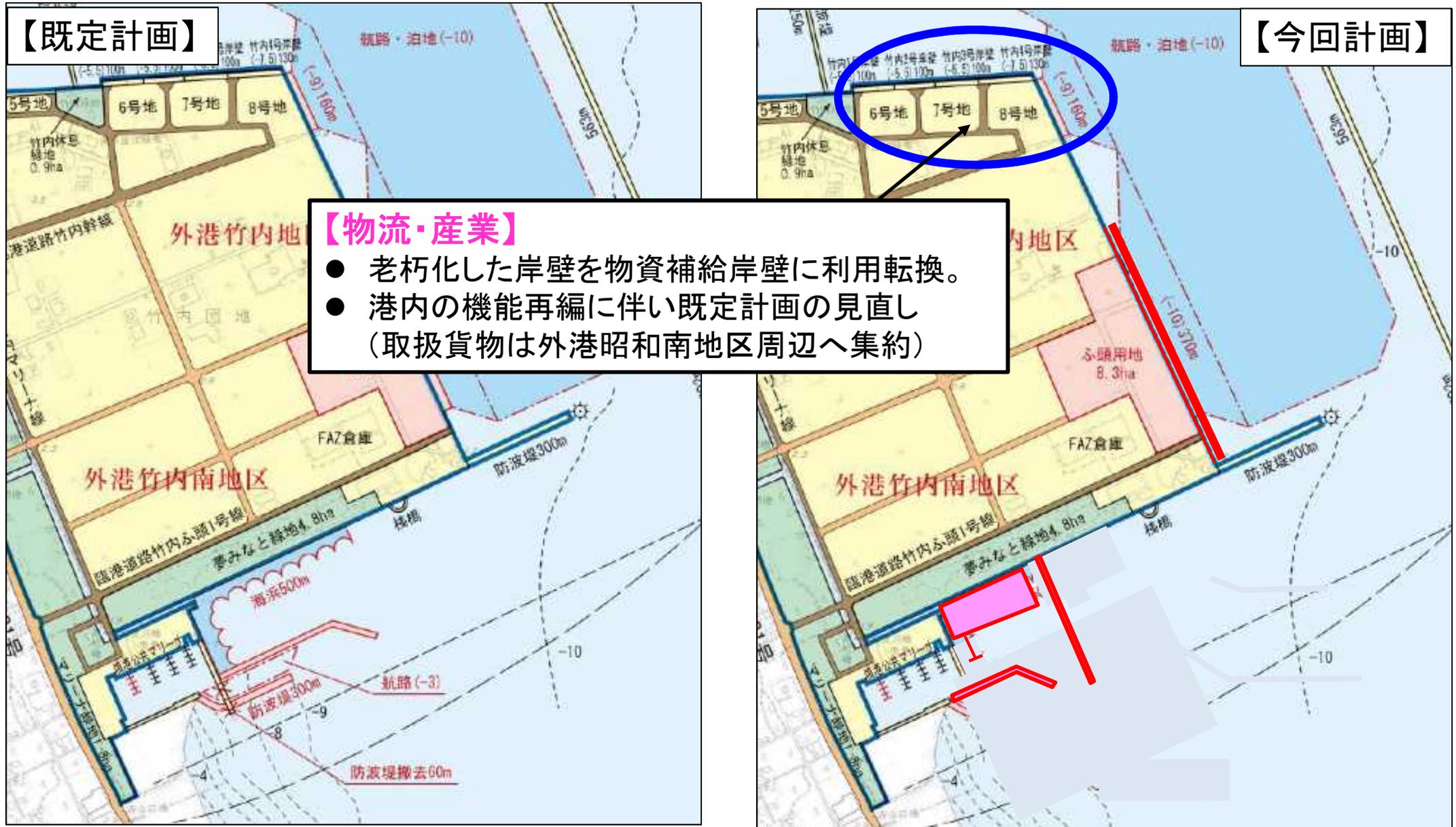
- 不法係留船対策による
安全・安心の確保

【人流・賑わい】

- プレジャーボート保管機能の強化及び各種
世界大会・国体等への対応

港湾計画素案の策定④-2

■外港竹内南地区周辺②

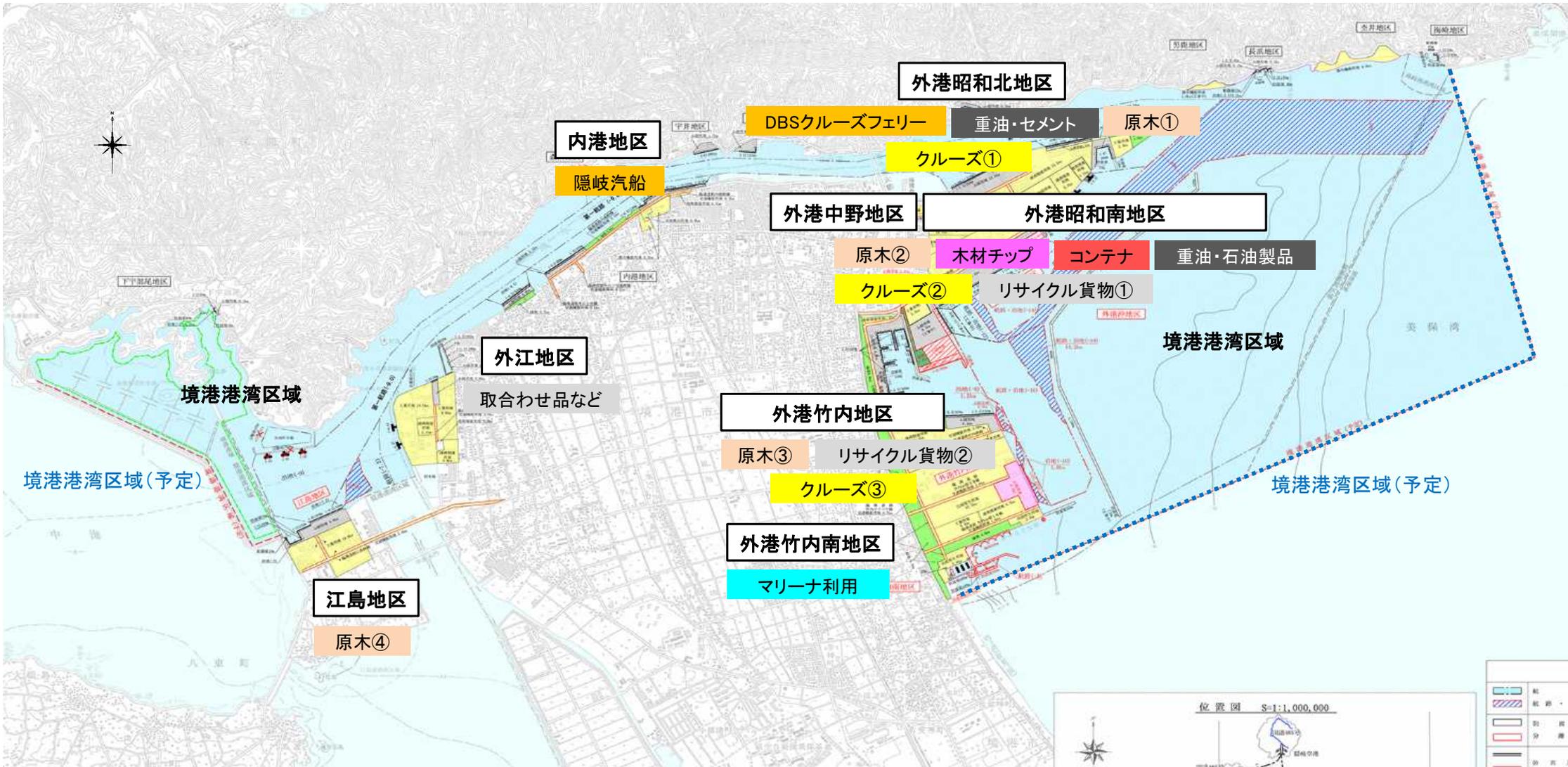


港湾計画素案の策定⑤

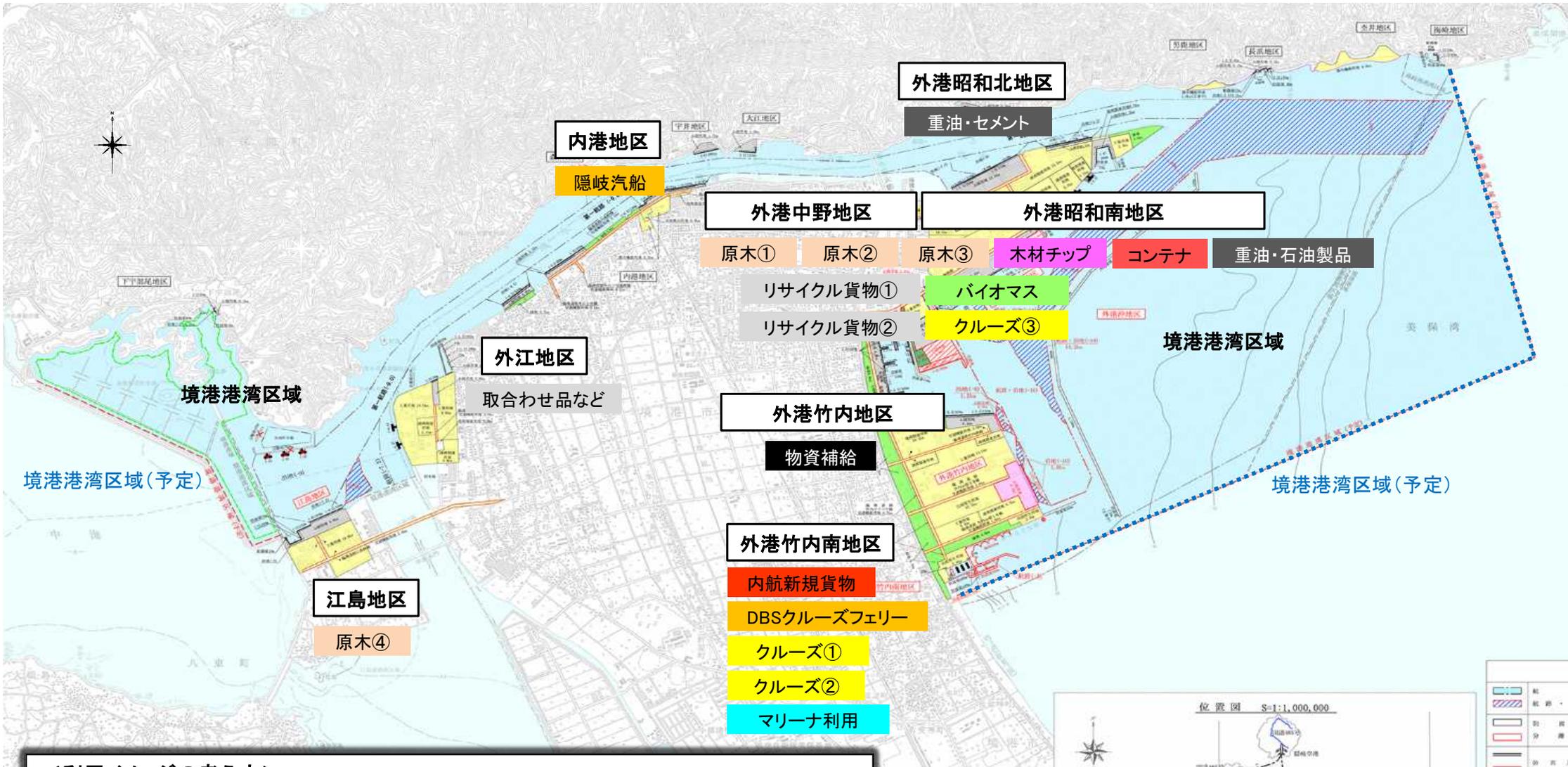
■江島地区周辺



現状の境港主要船舶の各地区利用状況



港湾計画素案における境港主要船舶の各地区利用イメージ



<利用イメージの考え方>

- 昭和北地区・竹内地区の原木、リサイクル貨物の取扱いを中野地区・昭和南地区に集約。
- DBSクルーズフェリー、クルーズ船、内航新規貨物は竹内南地区に集約。
※利用状況に応じ、竹内南地区で受入できないクルーズ船は中野地区・昭和南地区で受入。
- 新規バイオマス貨物は昭和南地区・中野地区で受入。
- 昭和北地区、竹内地区、内港地区、江島地区等については、適切な維持管理を行いつつ、利用状況に応じ、既存機能を強化や物資補給機能の保持を行う。

港湾計画素案における外港中野地区・外港昭和南地区利用イメージ

平成30年の岸壁利用実績

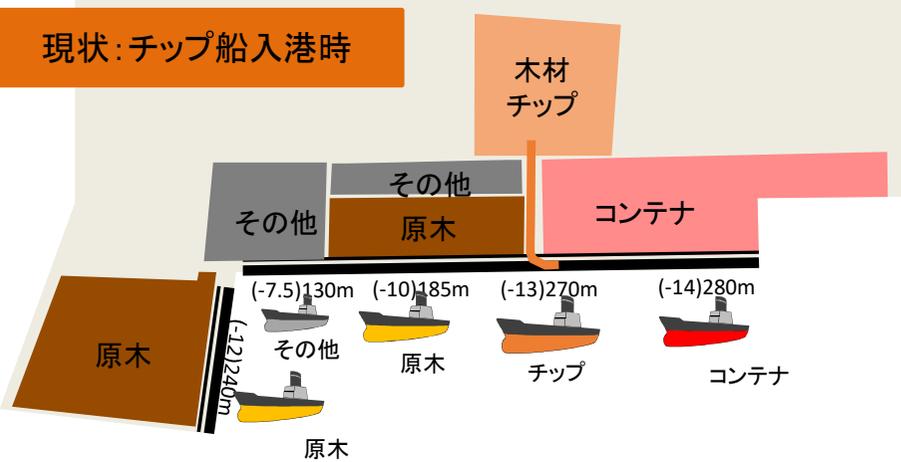
H30実績	入港隻数	接岸日数	主な利用船舶
昭和南1号岸壁	64隻	169日	チップ船、原木、クルーズ船
昭和南2号岸壁	24隻	36日	クルーズ船、その他船舶
昭和南3号岸壁	5隻	11日	その他船舶
昭和南4号岸壁	224隻	226日	コンテナ船
中野1号岸壁	35隻	66日	原木、クルーズ船
計	352隻	508日	

利用船舶の増加

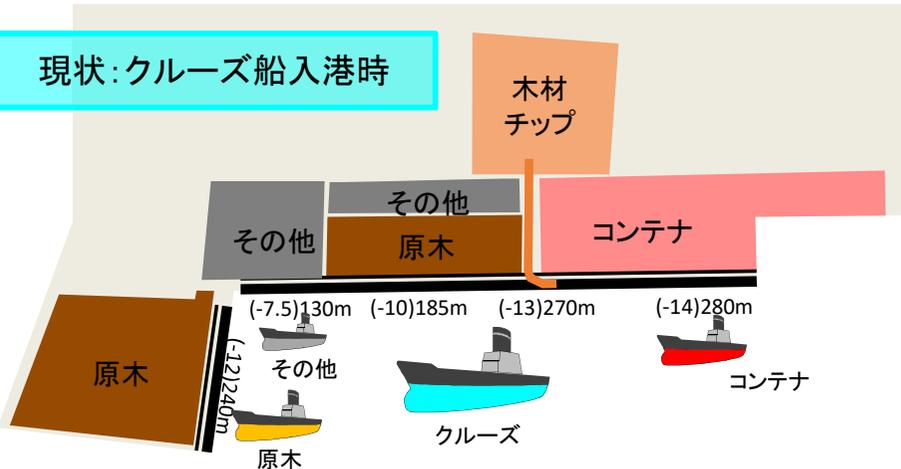
➤ 将来利用船舶の主な増加要因

- ・新規バイオマス発電事業
2つの新規発電事業の燃料を荷揚げ(約38万トン/年)
- ・将来の需要増加へ対応
今後増加が見込まれるコンテナ貨物及び堅調に推移していくと見込まれるバルク貨物へ対応
- ・クルーズ船の寄港数増加
新貨客船ターミナルに接岸できない場合は、外港中野地区・外港昭和南地区へ接岸
- ・港内貨物利用の再編
外港昭和北地区、外港竹内地区の原木の取扱を集約し、外港1号岸壁の利用貨物をシフト

現状:チップ船入港時

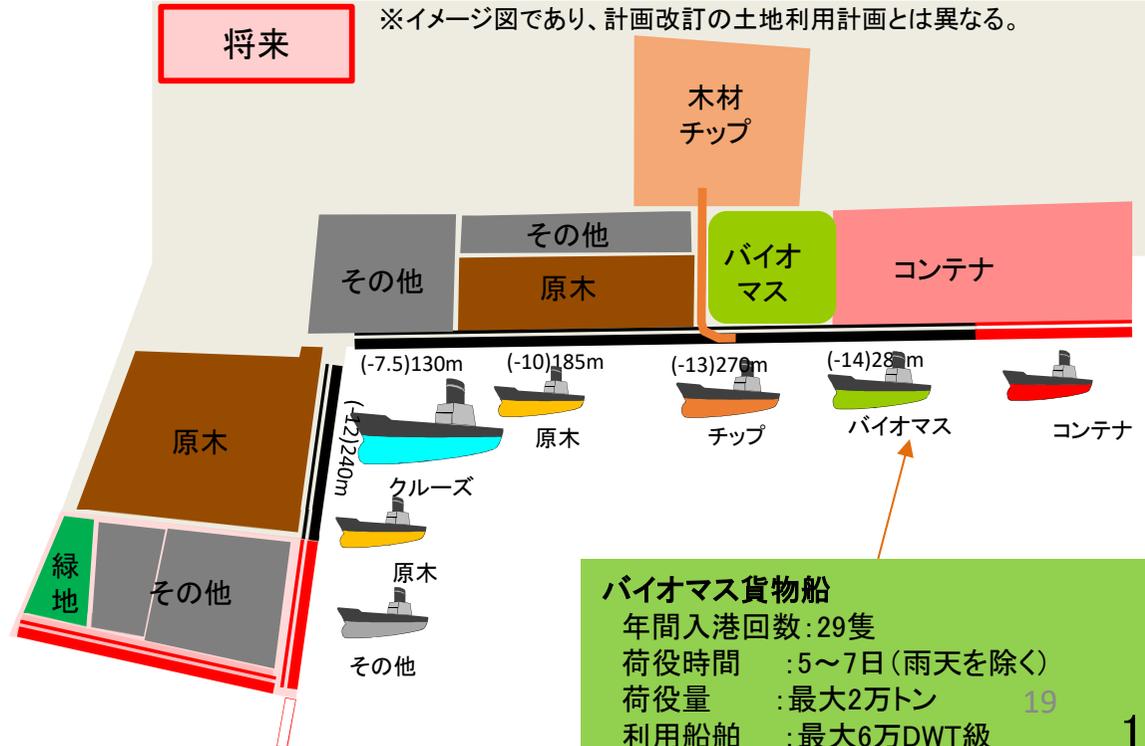


現状:クルーズ船入港時



将来

※イメージ図であり、計画改訂の土地利用計画とは異なる。



バイオマス貨物船

年間入港回数: 29隻
 荷役時間: 5~7日(雨天を除く)
 荷役量: 最大2万トン
 利用船舶: 最大6万DWT級

参考資料

(港を核とした地域の賑わいづくり～竹内南地区～)

竹内南地区賑わいづくり取組イメージ

民間取組

飲食施設の充実



物販施設の提供



温泉施設連携



キャッシュレス対応



官民連携取組

サイクリスト支援



二次交通の提供



各種イベント開催



受入体制の充実



クルーズ船の寄港により、大幅に来客数が増加！

夢みなとターミナル
クルーズ船・DBS・RORO船受入
CIQ・ホール・OAフロア・展望台
観光案内・デジタルサイネージ
大型ビジョンの活用、Wi-fi整備

竹内南地区賑わいづくり連絡会 (R1.8.28設置) を通じ、R元年度中に賑わいづくりの具体的取組内容を取りまとめ予定
 <構成メンバー>

鳥取県、境港商工会議所、境港市観光協会、山陰インバウンド機構、中海・宍道湖・大山圏域観光局、中海・宍道湖・大山圏域市長会事務局、境港青年会議所 (JC)、鳥取県西部活性化協会、鳥取県観光事業団、国土交通省境港湾・空港整備事務所、境港公共マリナー (指定管理者)、鳥取県漁業協同組合、境港水産振興協会 等 計 21 団体・所属

竹内南地区賑わいづくり取組例



竹内南地区賑わいづくりゾーンニングイメージ

グルメ ショッピング (食) (買物)

短期(R2年3月末まで)

- ・観光情報の発信(デジタル技術活用)
(関係機関)
- ・多言語対応
(各店舗・事業所)
- ・キャッシュレス決済拡充
(各店舗・事業所)
- ・自動両替機(外貨対応)
[境夢みなとターミナル → ターミナル指定管理者
SANKO夢みなとタワー → タワー指定管理者]

中期(R3年3月末まで)

- ・ターミナルでの臨時免税店開設
- ・各種クーポンの発行
(Visit San'in Tourist Passアプリ等を利用)
- ・既存漁村市等との連携
- ・水木しげるロードとの連携

長期(R3年4月以降)

- ・キャッシュレス対応店舗拡大
- ・自動両替機設置場所の拡大

アクティビティ (体験)

- ・観光情報の発信(デジタル技術活用)
(関係機関)
- ・フリーWi-Fiの拡充
[境夢みなとターミナル → 境港管理組合
SANKO夢みなとタワー → 県観光事業団
各店舗・事業所]
- ・サイクリスト支援施設の整備
(SANKO夢みなとタワー → タワー指定管理者)

- ・体験型観光ツアーの作成
- ・鬼太郎等キャラクターを活用した
ツアー作成
- ・マリーナとの連携
- ・サイクリングロードの利用促進
- ・夢みなと公園の活用イベント
※管理方法の検討

- ・各種観光情報の更新
- ・各種観光情報の範囲拡大
- ・旅行者自身がタブレット等で
観光情報を検索可能に
- ・魚市場上屋施設(調理実習室等)
の活用

交通施設 (2次交通等)

- ・案内標識の拡充
[県管理道路 → 米子県土整備局
境夢みなとターミナル内 → 境港管理組合]
- ・クルーズ船寄港時のシャトルバス運行
[境港駅・水木しげるロード方面
→ 境港市・事業者
米子・松江方面
→ 境港管理組合(※R2.4より実施予定)]
- ・循環バスの運行(はまる一歩バス)
(境港市)

- ・レンタカー営業所の開設
- ・キャッシュレス決済拡充

- ・循環バスの拡大
(米子・大山・北栄町等)
- ・周遊フリーパスの発行
- ・企画列車の運行
- ・車内デジタルサイネージによる
観光案内

イベント

- ・ライトアップ・光の演出
(境港市・境港管理組合)
- ・クルーズ船寄港情報の発信強化
(境港管理組合・関係機関)

- ・各種交流イベントの開催及び
連携の促進
[ターミナル・タワー・公園の活用
スタンプラリー
星空見学
既存漁村市等との連携]
- ・ライトアップ範囲の拡大

- ・イベントの拡充